

安芸中・高校 同窓会だより

第32号
同窓会事務局発行
H26. 2. 26



ご挨拶

同窓会副会長 長澤 千加

高知県立安芸中学校、高等学校同窓会の皆様は、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は本会の振興のためにご協力、ご支援いただきまして、誠に有難うございます。

まず、はじめに同窓会会長山崎勲様が平成二十五年十一月十九日ご逝去なさいましたことをご報告いたします。夏のはじめに体調を崩されましたが、秋風と共に回復に向かっておられると聞き及んでいました。突然の訃報を残念に思うばかりです。心よりお悔やみ申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り致します。山崎様は平成十九年七月から同窓会会長を、六年と三ヵ月余り努められました、それ以前は副会長として十年以上に渡って同窓会のお世話をしてくださったと聞いております。このことから安芸中、高校への思い入れは、大変深いものであったと思います、あらためまして、これまでのご貢献に、深く感謝申し上げます。

さて、平成二十五年度の同窓会の歩みを振り返ってみます。四月十八日の開校記念講演は、メルボルンオリンピック二〇〇メートルバタフライ銀メダリスト石本隆様が、「潜在能力」の題でお話くださいました。

生徒さんの中には、安芸畜産からオリンピックメダリストが出ていることに感動していました。

七月二十七日の同窓会総会は、各支部長様はじめ、同窓会の皆様が集い開催しました。記念講演は、東京慈恵会医科大学名誉教授町田豊平様の「前立腺癌」のお話で男性、女性とも大変勉強になりました。総会後の親睦会は、親子で仲良く出席なさった方、初めて参加の若い方もいまして、華やいだ会場の中、お互いに旧交を温めることができました。

県内外の同窓会総会は、近畿支部が七月七日、東京支部は七月十一日に、高知支部が十一月二十三日、東海支部総会は二月九日に開催されまして、年代を問わず母校の話で盛り上がり交流できました。

秋には、学校から体育祭、文化講演会、芸術鑑賞会等のご案内をいただきます。これらの行事への参加は、先生方、生徒の皆さんと一緒できます貴重な時間です。十一月七日の文化講演会では、新井満先生の「千の風から希望の木へ」と題したお話を聞きしました。新井氏の優しい歌声と共に震災で生き残った一本松に思いを託して生きるこの意味を問いかけられました。熱

心に聴講している生徒の姿にふれて、嬉しく思いました。
年が明け平成二十六年を迎えました。三月一日の高校卒業式は厳かな中にも若い希望にあふれた新しい門出です。卒業生二万三千人を超える同窓会への仲間入りです。同窓会は、皆様を歓迎し、同じ学び舎で過ごした母校の先輩、後輩といつつなかりで、

平成二十五年年度

安芸中・高等学校同窓会総会開催される

平成二十五年七月二十七日(土)安芸市ホテルタマイに於いて、本年度同窓会本部総会が開催されました。

総会に先立ち、東京慈恵会医科大学名誉教授町田豊平氏(旧中第四十二回昭和二十年卒)を講師にお招きし、「前立腺の最新治療について」と題してご講演をいただきました。町田氏による在校中の思い出や医師の道を歩むに至った経緯など、当時の人々との心のつながりをバックボーンに、懸命に医療に携わってこられた努力の軌跡を語られる氏の姿に皆が感銘を受けました。また、氏の専門分野、前立腺に関する様々なデータを伴う詳細な解説には、男女を問わず同窓生一同、あらためて健康維持への対処について、自戒をもって聞き入る貴重な時間を持つことができました。

総会では、平成二十四年度会務報告、経常会計並びに特別会計決算報告が事務局から行われた後、平成二十五年事業計画、経常会計予算並びに特別会計予算等の審議が行われ了承されました。
また、任期満了に伴う同窓会役員改選人事も信任され、今後二年間を任期とする新体制がスタートしました。今回の改選では、監査役員としてご助力いただいた織田庄之

親しみが湧き心が通いあいます。各地の同窓会への参加をよろしくお願ひします。
おわりに、伝統ある安芸中学校、高等学校がこれからも勉学に、スポーツに励み、同窓会も協力、支援しまして益々発展していきますよう祈念いたしますとともに、平成二十五年年度の報告と新しい年への飛躍を願ひましてご挨拶いたします。

佑氏(第六回昭和三十年卒)が退かれ、後任には谷口美洋氏(第十四回昭和三十八年卒)が就任されることとなりました。多年にわたりご助力いただきました織田氏に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

本会は、療養中の山崎会長に代わり、曾我章副会長が議長を務め、東京同窓会の柏戸正英会長、近畿支部同窓会の上上忠義支部長、高知支部同窓会事務局の東博幸氏にご挨拶をいただき、懇親の席では旧制安芸中、安芸高等女学校、安芸高校歌を合唱し同窓の旧交を温め盛会の内に終了しました。
おわりに、記念講演講師として事務局からの依頼を快諾いただき、母校安芸高に深い愛情と感謝の心をもって講演していただいた町田豊平氏(旧中第四十二回昭和二十年卒)に本誌よりも心からお礼を申し上げます。
ありがとうございました。



総会日程

平成25年7月27日(土)午後2時30分
・安芸市 ホテルタマイ

講演 演題「前立腺の最新治療について」

講師 町田豊平氏(旧中第42回 昭和20年卒)

総会

- 1 開会挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 各支部役員挨拶

議案

- 5 第1号議案 平成24年度会務報告の件
- 第2号議案 平成24年度経常会計並びに特別会計決算報告の件
- 第3号議案 監査報告の件
- 第4号議案 役員改選の件
- 第5号議案 平成25年度事業計画(案)の件
- 第6号議案 平成25年度経常会計予算(案)並びに特別会計予算(案)の件
- 第7号議案 その他

懇親会

総会終了後



議長 曾我章副会長



懇親会



安芸高校歌を合唱



高女校歌を合唱



旧中校歌を合唱

同窓会総会記念講演

演題 「前立腺の最新治療について」

講師 東京慈恵会医科大学名誉教授 町田 豊平氏 (旧中第四十二回・昭和二十年卒)

演題要旨



私は昭和二十年に安芸中学校を卒業し、その年に海軍兵学校に入學しました。それから戦後になり、將來どうしようかというところで、とにかく医学の方面に進めば飯が食えるだろうと考え、二、三年浪人し大学に入學しました。東京慈恵会医科大学は、関西の人には馴染みの少ない大学なのですが、当時の東京の予備校仲間から、歴史のある立派な大学だと教えてもらい受験しました。そいうわけで、私が高知県から最初に東京慈恵会医科大学に入學したのではないかと思っていたのですが、実際には高知県出身の仲間も数人おり、彼らと共に大学生活を過ごし医療の道に進み、今日に至っています。

前立腺という言葉は、現在是非常にポピュラーな言葉になりました。ニュースやテレビでもよく前立腺のことが話題になっています。ただ前立腺肥大症という病名はよく耳にすると思いますが、具体的にどのような病気なのかということについては、よく分かっていないんじゃないかと思えます。みなさんは小便小僧をご存知かと思いますが、この小便小僧が小便している姿というのが泌尿器科の基本を成しているのです。小便小僧は非常に気持ちよさそうに小便していますが、年を取るとこんな風にきれい

に尿が出せる人はなかなかいないと思えます。泌尿器科は以前はあまり注目されなかった器官ですが、最近ではテレビ番組などでも排尿の問題が取り上げられるなど、注目されるようになりました。それはつまり、小便小僧のように気持ちよく排尿できる人が非常に少なくなってきているということなのです。排尿という行為は何でもよいようなことですが、「小便がよく出ない」、「排尿時に痛む」、「よくおもらしをしまっ」など、うまく排尿できないということは、日常生活に非常に悪い影響を与えます。そして、そのため悩んだり、手術を受けなければならぬ状態になっている人も大勢います。そのような社会問題になっているという背景を見てもわかるように、今、泌尿器科というのは大変注目されています。

私が泌尿器科という学科を選んだきっかけは、安芸高校三年生の時に「おんかん」というあだ名の理科の先生に出会ったことです。先生は自分の講義に熱中し興奮するあまり、涙を流しながら教えるということがよくありました。私はなぜか先生の授業が非常に印象に残っており、最後の講義で先生が「小便が出ることはありがたい」という小便の話をして下さったことが心に強く残ったのです。そして、それ以来「小便がどこから出るか」、「小便はどうやって作られるか」、あるいは「どうして小便が出にくくなるのか」などと、尿について関心を持つようになりました。そして、大学で腎臓や尿に関する講義を受けることで、やはり尿についてのおもしろいな、先生が涙を流していた理由がよくわかるなと思うようになり、自然と泌尿器科の医師になる道を選んだのです。

「うまく尿を出すためにどうすればいいか」、あるいは「尿漏れをしないためにはどうすればいいか」、尿の出方を悪くしている病気を治療するということを本職としているのが、泌尿器科です。つまり、泌尿器科の病気というのは、痛くもかゆくもないことが多いのですが、生活の質を悪くするという点で重大な問題を抱えていると言えるのです。

小便をするということは、極めて日常的なことです。ですから、健康な方は尿が普通にすることが特別なことだと思わずに当たり前だと思っています。しかし、実際にうまく排尿できなくなったり、一日に何度も排尿するようになったりという色々な症状が出た場合は泌尿器科の病気だと考えられます。そして、ひどくなると腎臓を悪くしたり、癌のように色々な疾患が起こったりするので注意が必要です。講義の際、学生にそういったことを話しても、皆、小便をするということについてあまり深く考えていないんです。問題なく排尿している時には全く気にならないのです。排尿に限らず、食事をすることや呼吸していることも全て当たり前に行っていることですが、当たり前が当たり前じゃなくなること、当たり前を少し考えてみれば、分らないことがたくさんあると思います。

例えば、次のような有名な話があります。ギリシャのある頑強な男が、犬に食いつかれそうになって追いかける話です。幸い男は逃げ果せたのですが、その後呼吸を整えながら考えたことには「なぜ自分はこんなに元気に走れたんだろう」、そして、「それは足の筋肉や器官がしっかりと機能しているからではないだろうか」ということに気がついたというエピソードです。このように我々が日常的に行っている体の動きや機能には全て理由や原因があつて、人間がうまく生活できるようにするために働いており、排尿というのもそのような考えのわけです。ですから、今一度小便のことを深く考えてほしいという意味を込めて、みなさんにお話をしたいと思います。

昔のギリシャの聖人に医の神様と呼ばれるヒポクラテスという人がいます。彼は多くの言葉を遺しており、現代の多くの大学の医学部では、学生が卒業する際に「ヒポクラテスの誓い」という言葉を唱え、菓立つていくのが慣習となっています。ヒポクラテスはギリシャの小さな島で医学教育をしていたのですが、「患者の害になることを絶対してはいけない」、「医師の医療行為は患者のためになるものでなければならぬ」、少しでも患者のためにならないと思うことはしてはいけない」ということを述べています。

ヒポクラテスがなぜこのようなことを述べているかと言うと、当時のギリシャには尿路結石の患者が非常に多かったということが考えられます。腎臓結石、膀胱結石などとも言いますが、結石が腎臓でできると、普通の場合は尿と排泄されるのですが、排泄されずに膀胱に残ったり尿道に詰まったりするのが尿路結石です。当時のギリシャでは、慢性的な病気として尿路結石の患者が非常に多く、それをどうにか治さなければならぬというところで、盛んに手術が行われていました。それも内科とは違う外科の医師が手術を行っていたということですが、実際にはあまりうまくいかなかったようです。背中側から四人ほどの屈強な男性が患者の両脚を抱え押さえつけ、患者が股を広げるような形で、尿道の出口と思われる部分を見えるようにして手術したのです。この手術の方法を「碎石術」と言い、今でも日常的に医療の中ではよく行なわれる体位です。そして尿道の奥の方をメスで切り開けば石が出るのではないかと考え、外科的な手術をしていたのですが、その方法ではつかえている結石がなかなか見つかりませんでした。おそらく、結石はその奥にあっていたのでないかと思えます。千六百年くらい以前にはないかと思えます。千六百年前くらいには手術が行なわれていたのですが、特に王様がこのような手術をしたければならなくなったときは大変でした。尿道をカミソリで切るわけですから大変な痛みを伴いますから、付き人が王様を押し

えつけて手術をしたわけです。それゆえ、ヒポクラテスはこのような手術はしてはいけないと述べているんです。ヒポクラテスの誓いの中では、「できない手術、治療と門医に任せて、患者の治療が完結するのを見届けるような医者になりなさい」と述べており、泌尿器科のルーツとしてよく紹介される事例です。

日本では、尿道の手術や解剖は千二百年くらいからずつと行われていました。西洋では、キリスト教の影響もあってなかなか解剖などはできませんでした。医学学校が普及していた関係で比較的研究が進んでいました。不思議なことがあればどうなっているか見てみようとするのが外科の考え方で、頭が痛いとなると頭の中をくり抜いて見てみようとしたのです。エジプトの英国博物館に行くと、研究のために頭をくり抜かれたミイラがたくさんあります。また、それらのミイラを見ると、結石のために亡くなったと思われる方もたくさんいます。必要性に応じて解剖をし、研究するというのが医療の基本であるわけです。

日本では一七七〇年代、明治の少し前の時代に初めての解剖が行われました。それより二百年ほど前、すでに西洋では非常に詳しい解剖図ができており、前立腺なども非常に詳細に描かれていました。当時日本では、あまり細かい記述はまだされていませんでした。尿路の一部に何か腫れたものができるということは認識できていたようですが、これが手術の対象になる病気であるということにははっきりとわかっていなかったようです。

前立腺はどういう機能を果たしているかという点、男性の精液がどまっている臓器なのです。言わば、男性の性器として重要な役割を果たしており、副性器としての役割をもったものが前立腺です。昔はあまり詳しい観察が行われておらず、精嚢線や前立腺が男性の生殖腺の一つとして認識されたのは戦後でした。アメリカでは一九二〇年初頭、日本では一九三〇年くらいに病

次に、尿路というものがどういう風に構成されているかを考えるために男女の尿路を比較してみると、男性の方が長く、女性の方が短いです。そして、男性の尿路には、膀胱との間に前立腺が控えています。この男女の違いは、いろいろな尿路の障害の違いにも関わっていることが分かると思えます。男性は尿道が長くしっかりしているため若い頃はうまく尿が出るけれども、一端前立腺の具合が悪くなれば出にくくなってしまう、一方、女性の方は尿路が短く尿を止める仕組みができていますが、加齢に伴ってそれがゆるむと色々な問題を引き起こすわけです。

現在は尿を詳しく検査するというのは当たり前のことですが、昔は尿を調べるという習慣はありませんでした。ヒポクラテスの時代に医学をもって尿を調べるということが行われるようになり、注意して、何か異常がある場合にはできるだけ早く内科、あるいは泌尿器科の医師に診てもらい、検査・治療を受けることをお勧めします。自分では何ともないと思っている人も多いと思いますが、我々専門医はたとえ症状が軽くても、どのような病気につながっているのかということを常々考えています。

①尿に濁りがあるかないか
 ②勢いよく出ているか
 ③夜中に何度もトイレに立っていないか
 ④特別意識していなかったのに突然尿意を催す
 ⑤残尿感はないか

などという点を専門医は重要視しています。まずは日常生活の中でこの五つの項目に気をつけてみて下さい。

前立腺肥大症は、排尿障害を診ることから始めなければならぬということ、十年近く前から国際的に泌尿器科の専門医が集まり、規則を作っています。どのようにして前立腺の病気を判断するのかと言うと、いくつかの質問事項に対する回答に応じて点数を出し、その得点によって判断すると

た。

次に、尿路というものがどういう風に構成されているかを考えるために男女の尿路を比較してみると、男性の方が長く、女性の方が短いです。そして、男性の尿路には、膀胱との間に前立腺が控えています。この男女の違いは、いろいろな尿路の障害の違いにも関わっていることが分かると思えます。男性は尿道が長くしっかりしているため若い頃はうまく尿が出るけれども、一端前立腺の具合が悪くなれば出にくくなってしまう、一方、女性の方は尿路が短く尿を止める仕組みができていますが、加齢に伴ってそれがゆるむと色々な問題を引き起こすわけです。

現在は尿を詳しく検査するというのは当たり前のことですが、昔は尿を調べるという習慣はありませんでした。ヒポクラテスの時代に医学をもって尿を調べるということが行われるようになり、注意して、何か異常がある場合にはできるだけ早く内科、あるいは泌尿器科の医師に診てもらい、検査・治療を受けることをお勧めします。自分では何ともないと思っている人も多いと思いますが、我々専門医はたとえ症状が軽くても、どのような病気につながっているのかということを常々考えています。

いう方法をとっています。泌尿器科ではこの排尿スコアを基準にして診断・治療方法を考えています。

皆さん方の中にも排尿に関する何らかの症状がある方がいるのではないのでしょうか。実際に統計をとってみると、男性では六十パーセントくらいの方が何らかの症状を持っているそうです。また、女性は大体七十歳以上は尿失禁や尿漏れがあるということですが、さらに年代別の統計を見ると、男性の場合四十歳くらいから明らかに女性よりも排尿障害を持つ患者さんが増えます。六十歳になると圧倒的に女性の患者さんが増えますが、これは尿漏れの症状が多くなるからです。

次に、前立腺肥大症とはどういう症状かということについてお話ししたいと思います。前立腺は膀胱から尿道に移る境目にあるため、排尿障害も起こりやすいのです。前立腺はいわゆる生殖器官の役割を果たしています。また、膀胱の機能は神経とも深く関わっているため、転んで強く打ったりして外傷を受け脊髄神経を傷つけると、排尿障害を引き起こすことがあります。前立腺肥大症になるとどのような症状が出るかというと、膀胱にたまった尿がしっかりと出ない、つまり、残尿感がある、切れが悪いなどということが起こります。そして、このような症状が長く続くと、膀胱や腎臓に尿が残ったままになり、結果、腎臓が悪くなり尿毒症になります。透析をしなければならぬのは、このスコアを指針にする素人目にもわかりますので、気になることがあれば躊躇せずに医師に相談して下さい。

残尿感が続くと、膀胱から尿管へ、そして腎臓へという風に影響を与えます。そうすると、最終的には腎不全が起こってきます。前立腺肥大症の診断には、以前は細かいレントゲン撮影をしなければならなかったのですが、今はエコーで簡単に診断できます。また、前立腺がどれくらい大きく腫れているかを診断する方法の一つとして、直腸の方から指を入れて診るという方法を

取っています。前立腺は通常栗の实くらい大きですが、小さい鶏卵ほどになって、中鶏卵大、大鶏卵大など、という風に肥大の診断をしていきます。最近ではテレビなどでも前立腺の診察方法などが取り上げられ認知度も上がってきましたが、この検査方法は恥ずかしさを伴うこともあって何かと誤解を受けることも多く、やはり患者さん側の理解が必要かと思えます。

前立腺肥大症の治療については、現在は薬で治せる方法もありますし、手術をしなくてもいい場合でも非常に安全に行うことができます。特殊な場合にホルモン剤を使うこともあり、副作用を伴うためそれを嫌う患者さんもいます。そのような方にはホルモン剤以外の治療薬もあり、薬局でも購入できますので、薬剤師に相談してみたいと思います。

このように前立腺肥大症の約五十パーセント、半分ほどは薬で治療することが可能ですが、どうしても手術をしてほしい、残尿感が残ってしまおうという患者さんには手術療法を用いることになり、「経尿道的前立腺切除術」という方法が挙げられます。現在、膀胱の内視鏡が大変進歩したことから、内視鏡診断が盛んに行なわれるようになり、内視鏡を外科的な治療に応用したのが、この経尿道的な前立腺の検査がその先駆けと言えます。この「経尿道的な前立腺切除術」という方法は、尿道から膀胱に内視鏡を入れ、腫れ上がっている前立腺を切除するというものです。現在、前立腺肥大症の治療では、国際的に見て最も初めの選択として採用される標準的な手術方法です。比較的短時間で手術ができ、一番よい手術方法だと言われています。私が大学を卒業した時分によくやっていた方法で、腹部を切り膀胱の中に手を入れて、前立腺の腫瘍をつかみ出すというものがありません。しかしながら、前立腺を取り出す際に大量出血する場合が多く、術後も経過を診る必要があります。患者も医師も苦痛を伴いました。「経尿道的な前立腺切除術」が普及したから、この方法はほとんど行われな

なり、手術も効率的、安心・安全に行うことができるようになったと思います。しかし、手術をしてもやはり十分な排尿が得られないという患者もいると思います。その場合は再度検査を行い、前立腺による障害だったのか、膀胱の機能が原因のものなのかを考慮して、薬を飲むことで治療を進めていきます。前立腺肥大症は良性の腫瘍であって癌ではありませんので、少々のことでは死に至るといような病気でありません。また、いざとなれば、膀胱の中にバルーンカテーテルを留置し、尿を出すという方法もあります。膀胱に管を入れるわけですから煩わしい面もありますが、慣れればさほど嫌わしい面もありません。重大な病気があり薬による治療を避けたい場合はよくこのように、前立腺肥大症には多くの治療方法があり、患者に合った方法を用いることが必要です。

次に、前立腺癌についてお話ししたいと思います。前立腺癌は悪性の腫瘍で、近年患者が非常に増えています。どこの市町村も必ず前立腺癌の検診を行っており、採血だけでできます。そして、市町村によっても異なりますが、ほとんどが無料です。前立腺の検査の場合、通常PSA(前立腺から分泌される物質)の測定も行うのが常識です。前立腺に疾患があると血液中にもPSAが浸出し、必ず数値に表れます。この数値によって癌であるか否かを判断します。また、前立腺癌と言っているのは癌の中でも一番長生きする癌なんです。がんの疑いがあるという数値の人でも九十歳以上であるという方はいくらでもいます。最近基準値を過ぎて平気で生活されている方もいますし、病気の進行も早くありません。ですから、焦らずゆっくり治療されたらよいと思います。また、前立腺癌の場合、手術的な治療はほとんどしません。なぜなら、女性ホルモンが治療に大変効果的であるからです。女性ホルモンを投与する治療法は、顔がふっくらしたり皮膚が黒ずんだりという副作用もありますが、長生きすることが

可能です。そのような病気に気づくためには、普段から自分で尿の量を測定し記録することが大切です。そして異常がある場合は三、四日測定を続け、容量はどれくらいか、何回排尿したかを記録しておく、医師の診断を受ける際にも非常に効果的です。特に労働もしていない、汗もかいていないのに容量が少ないとか、特に水分を摂っていないのに尿量が多い、尿が濁っているなどのような症状がある場合は、必ず医師の診断を受けて下さい。最も深刻で、自分でもよく分かる症状は、血尿です。血尿が見られた場合は、たとえ一回でも何か重大な病気が危険性があります。このように尿量を測定し記録することは、自分で症状を見つけるのに非常に有効です。最後にありますが、寿命に関する統計が毎年厚生労働省から出されるのですが、日本人の平均寿命は男性が八十歳くらい、女性は八十五歳くらいです。都道府県別で比較したものが、昨年は男女とも長野県がトップで、高知県は男性は二十位、女性は十五位で普通くらいですが、百歳以上の高齢者がいる割合では、沖縄県がトップ、五年前くらいから女性は沖縄に次いで高知県が二位なんです。土佐の女性が長生きできるのはなぜなのか、考えてみると、おもしろいと思います。統計から見ますと、長生きするための生活条件があると考えられます。つまり、長生きする上で高知は非常に良い生活条件があると思います。このようなことを考えるのも医療の一つであると思います。私も今年八十五歳ですが、これからはがんばりたいと思っています。最後にお互いの健康を祈念してお話を終わりたいと思います。



謝辞：門脇副会長

各支部との交流

◆同窓会本部総会
平成二十五年七月二十七日(土)
会場 ホテルタマイ (安芸市)

◆近畿支部同窓会総会
平成二十五年七月七日(日)
会場 大成閣
(大阪市中央区東心斎橋)

◆東京同窓会総会
平成二十五年七月十一日(金)
会場 ファーストスクエア宴
(東京都千代田区大手町)

◆高知支部同窓会総会
平成二十五年十一月二十三日(土)
会場 高知会館(高知市)

◆東海支部同窓会総会
平成二十六年二月九日(日)
会場 アイリス愛知
(名古屋市中区丸の内)

本年度も本部、各支部同窓会総会をとおして、たくさんのお窓の皆様の交流が行われました。
どの支部も総会後の懇親会では、旧制安芸中学、安芸高等女学校、安芸高校歌をそれぞれが合唱し、旧交を温めました。全国各地で社会に貢献される同窓の皆様は今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。
来年度も、全国それぞれの支部で同窓の集いが予定をされております。たくさんのお窓の皆様のご参集を期待しております。



柏戸会長

【東京同窓会】



水上支部長

【近畿支部】



【東海支部】

竹内支部長 (中央)



半田支部長

【高知支部】

平成25年度 各支部代表表

東京同窓会長	柏戸正英	高普2 (S26)	〒260-0854	千葉県千葉市中央区長洲2-21-16
近畿支部長	水上忠義	高普2 (S26)	〒638-0811	奈良県吉野郡大淀町大字土田507-320
東海支部長	竹内直彦	高普9 (S33)	〒507-0826	岐阜県多治見市脇之島町6-67-14
高知支部長	半田久米夫	高普7 (S31)	〒780-0034	高知市三園町84

☆社会に貢献する同窓生の活躍

高知県文化功労者表彰受賞

文化振興や環境保全などに功績があった人に送られる「高知県文化環境功労者表彰」を本校同窓生南熙氏が受賞されました。長年にわたる高知県文化振興へのご貢献に対する同賞受賞を、心からお祝い申し上げます。



みなみ ひろし 南 熙氏

昭和24年3月卒1期生
旧制第44回同期生

南氏は安芸市文化協会の会長を十二年間務められるとともに、内原野陶芸館開設に尽力し、開設当初から館長として作陶の普及、指導にあたるなど安芸市の芸術文化振興に尽力されました。また、安芸市文化財保護審議会委員長として、安芸市土居の武家屋敷が、安芸市土居廓中重要伝統的建造物群保存地区として国の選定を受けるなど、文化財保護に尽力されたことを評価されていると受賞となりました。

平成二十五年安芸市民賞受賞

安芸市の市政・産業・教育文化・公共福祉などで功績の顕著な人物や、市民の模範となる行為があった人物を表彰する平成二十五年「安芸市民賞」に本校同窓生岡林福督氏を選ばれました。



おかばやし よしまさ 岡林 福督氏

昭和24年3月卒1期生
旧制第44回同期生

長年にわたる教育文化へのご貢献に対する同賞受賞を、心からお祝い申し上げます。妙見山「初日の出登山」を小学校PTAとともに創設し、地域文化の振興に尽くされたほか、教員時代に培った実績と指導力を生かし、井ノ口公民館長として生涯学習活動の充実や地域コミュニティの醸成に貢献されました。市の無形民俗文化財「一ノ宮万才」の保存会代表や、一ノ宮神社および星神社の総代表、星神社拝殿改築実行委員長を務めるなど、幅広い分野で尽力されています。

女子ラフティング世界大会四位入賞

ニュージーランドで行われたラフティング世界大会(平成二十五年十一月二十四日)で、本校同窓生竹村碧氏が所属するチーム「THE RIVERFACE」が、女子の部(6人制)で総合四位入賞を果たしました。今後のご活躍をお祈りします。



たけむら みどり 竹村 碧氏
平成12年3月卒51期生
写真左

欧州では、競技スポーツとして注目度も高く、日本でもレジャーとしても人気があるラフティング(急流下り)。竹村さんは徳島県を拠点にするチーム、リバーフェイスの一員として国際大会で活躍しており、ラフティングの普及にも努められています。

平成25年度 同窓会 役員名簿

Table with columns for position (常任理事, 役員), name (氏名), and graduation year (卒業年). It lists members from 1 to 102.

